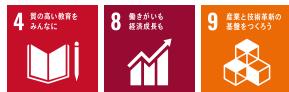


□要請番号 (JL00925B14)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|-------|------------|------|------|----|------|----------------------------------|
| マレーシア | D235 自動車整備 | | 個別 | 新規 | 2年 | ・2026/1・2026/2・ 2026/3・2027/1 |



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

人的資源省

2) 配属機関名（日本語）

職業訓練指導員・上級技能訓練センター(CIAST)

3) 任地（スランゴール州シャーアラム）JICA事務所の所在地（クアラルンプール）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（鉄道で約1.5時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

本センターは、世界クラスのインストラクターの育成を使命として、1983年に日本政府のASEAN人造りプロジェクトのもとで設立された、人的資源省技能開発局(JPK)傘下で唯一の職業訓練指導員養成校である。自動車、電子工学、ICTなどの分野において、現場指導員養成研修や管理・監督者向け研修を実施し、職業・技術教育訓練(TVET)を提供する高等技術トレーニングセンター(ADTEC)などの指導者を育成している。産業人材の育成は、第12次国家計画(2021-2025)において政策方針の一つとして掲げられており、高所得国入りを目指すマレーシアにとって、最重要課題の一つとなっている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国では2020年に新国家自動車政策が発表され、国内自動車産業の競争力と能力の向上、省エネ車(EEV)域内ハブの形成などを含む、自動車産業の包括的な発展を目指されている。この政策の一環として、政府は電気自動車(EV)の普及促進に取り組んでおり、政府公用車やバスのEV化などの施策を進めている。こうした動きの中で、国内唯一の指導者養成機関である本センターにおいても、EEV、特にEVに関する総合的な知識と理解を深め、技術力を高めることが求められている。将来的に需要の高まりが予想されるEEVの診断技術にも対応できるよう、訓練内容や教材の見直し、技術者の養成が期待されており、本要請が行われた。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

省エネ車(EEV)、特に電気自動車(EV)に関して、以下の活動を行う。

- EVに関する総合的な知識や技術を同僚講師に伝え、職業訓練校でのインストラクターを目指す学生が指導できるレベルにまで高める。
- 学生にEV車の技術(基礎や仕組みなど)を効果的に伝えるための教材や学習資料を作成する。
- 自動車整備全般の整備品質向上に向けた支援を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

電気自動車(三菱 i-MiEV 2012)、ハイブリッドカー(トヨタ プリウス)、電気自動車トレーナーセット(OEM)、ハイブリッドカートレーナーセット(OEM)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

- ・自動車整備課主任(40歳代、男性、経験22年)
- ・同僚講師(50歳代、男性、経験30年)
- ・同僚講師(30歳代、男性、経験12年)

活動対象:

- ・学生約25名(平均年齢20歳、男女)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

マレー語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許/資格等]： (2級ガソリン・ジーゼル自動車整備士以 [学歴]： (専門学校卒) 備考：同僚の学歴を考慮上)

[性別]： () 備考： [経験]： (実務経験) 10年以上 備考：同僚の経験年数を考慮

[参考情報]：

- ・電気自動車に関する技術と経験が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (熱帯雨林気候) 気温： (25~35°C位) [電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可) [水源]： (安定)

【特記事項】

・活動言語は英語であるが、配属先ではマレー語が使用されることもあるため、現地語学訓練においてマレー語を学習する。

【類似職種】